

本TIPsは、以下の場面で活用します。

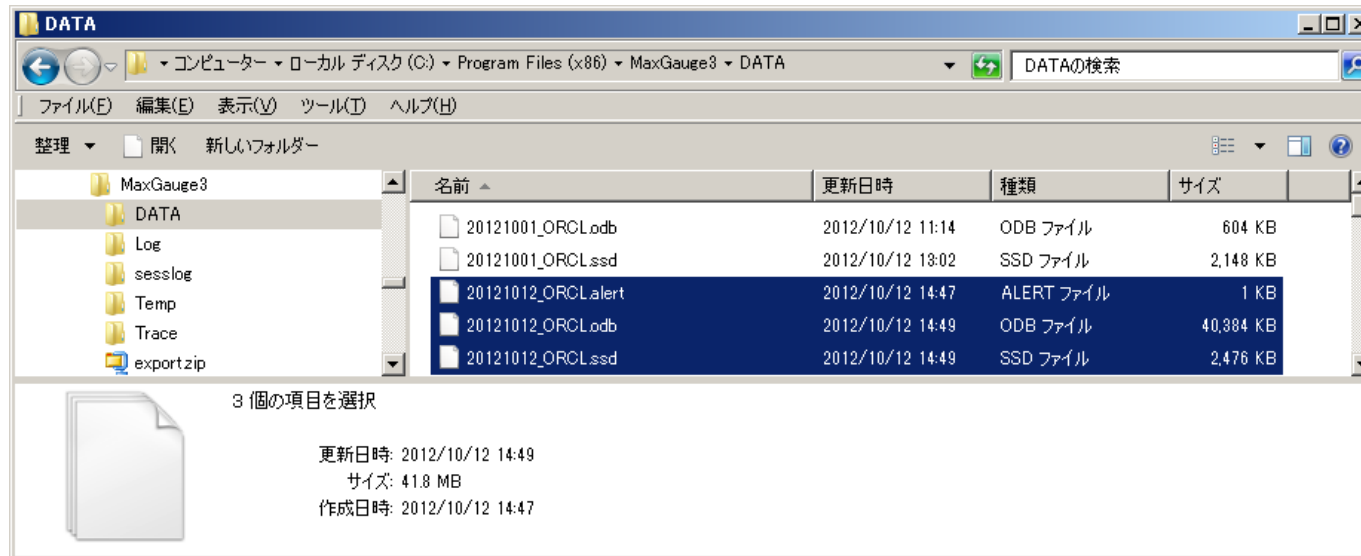
- ✓ リモートでDB稼働状況の分析サポートを受ける
- ✓ 現地で発生した問題を別の場所で分析する
- ✓ 集中的に診断・分析できる部門があるが、現場が散在している

## 1 [DB運用サイト] MaxGaugeログを圧縮する

MaxGaugeクライアントが保存している以下3つのファイルを圧縮します。

デフォルトのパス C:\Program Files (x86)\MaxGauge3\DATA

- ・YYYYMMDD\_<DB名>.alert
- ・YYYYMMDD\_<DB名>.odb
- ・YYYYMMDD\_<DB名>.ssd



## 2 [DB運用サイト] MaxGaugeログを転送する

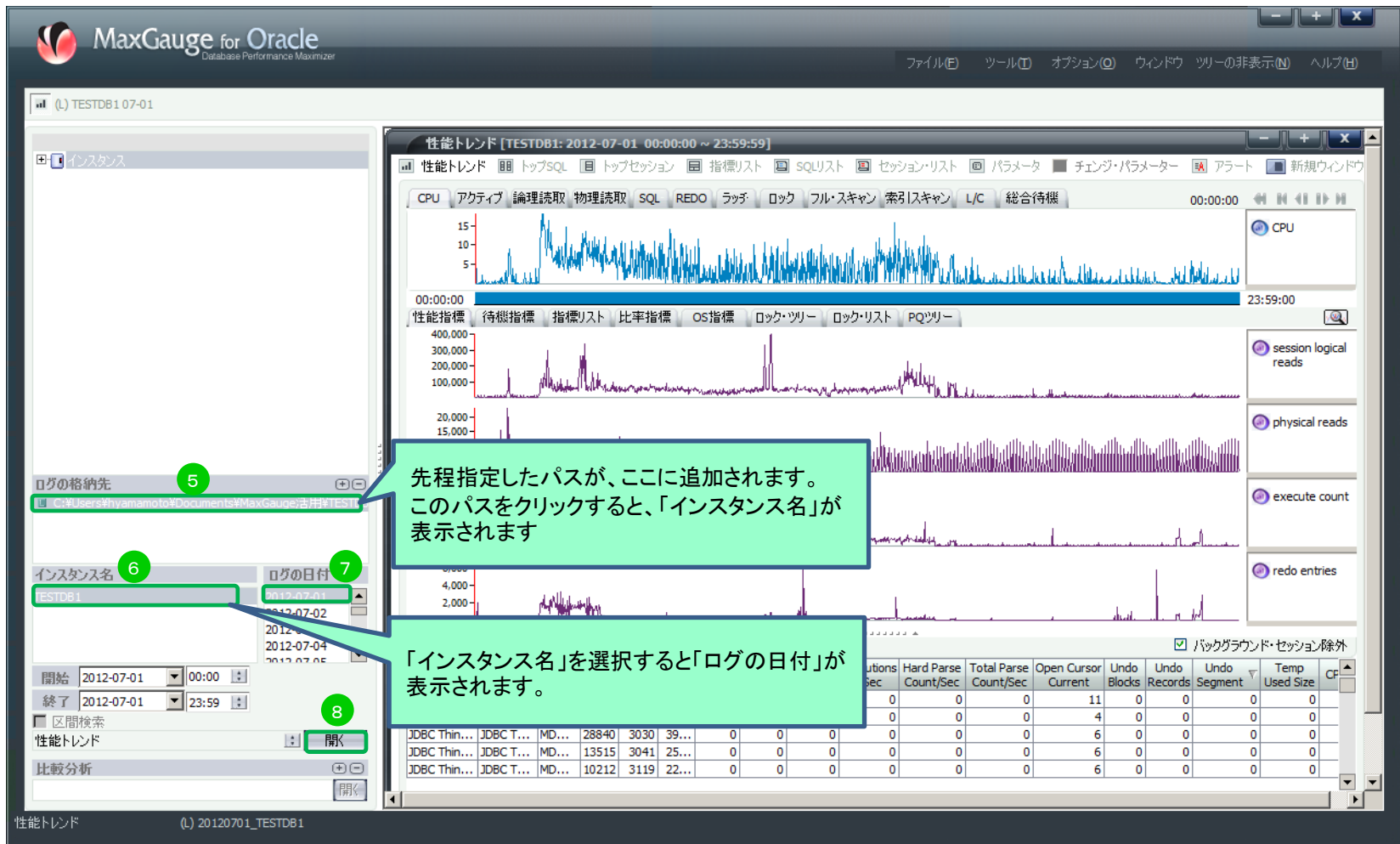
圧縮ファイルをリモート側と共有可能な場所へアップロードします。(FTPなど)

- 3 [リモートサイト] MaxGaugeログを受け取る  
受け取った圧縮ファイルを任意の場所に解凍します。
- 4 [リモートサイト] MaxGaugeログを開いて分析する  
Performance Analyzerを起動し、「ログの格納先」で解凍したパスを指定します。



# 活用TIPs:リモートでDB稼働状況を分析する

「ログの格納先」に追加されます。このパスをクリックし「インスタンス名」、「ログの日付」を選択し「開く」を実行することで解析ができます。



The screenshot shows the MaxGauge for Oracle interface. The main window displays performance trends for instance TESTDB1 on 2012-07-01. The interface includes a left sidebar with configuration options and a main area with performance graphs and a data table.

**5** ログの格納先

**6** インスタンス名

**7** ログの日付

**8** 開く

先程指定したパスが、ここに追加されます。このパスをクリックすると、「インスタンス名」が表示されます

「インスタンス名」を選択すると「ログの日付」が表示されます。

Operations	Hard Parse Count/Sec	Total Parse Count/Sec	Open Cursors Current	Undo Blocks	Undo Records	Undo Segment	Temp Used Size	CP
JDBC Thin...	0	0	11	0	0	0	0	0
JDBC Thin...	0	0	4	0	0	0	0	0
JDBC Thin...	0	0	6	0	0	0	0	0
JDBC Thin...	0	0	6	0	0	0	0	0



今回のTIPからは、以下の事を確認しました。

- ✓ リモートサイトとのMaxGaugeログの受け渡し



MaxGauge TIPsはこちら

[http://www.ex-em.co.jp/exem\\_lab/exemlabo\\_maxgauge\\_tips\\_index.html](http://www.ex-em.co.jp/exem_lab/exemlabo_maxgauge_tips_index.html)

<お問い合わせ>

日本エクセム株式会社

TEL: 03-4530-9598

e-mail: [service@ex-em.co.jp](mailto:service@ex-em.co.jp)

DATABASE **ARTIST** GROUP

<http://www.ex-em.co.jp>